



理工学研究科電気電子工学コースの大学院生が
映像情報メディア学会放送技術研究会で最優秀賞と優秀賞を受賞

【概要】

理工学研究科理工学専攻電気電子工学コース博士前期課程2年の林 大地さんと南村 椋大さんが、2026年1月29日～30日に開催された映像情報メディア学会放送技術研究会において、学生発表部門の最優秀賞と優秀賞をそれぞれ受賞しました。

【本文】

理工学研究科理工学専攻電気電子工学コース博士前期課程2年の林 大地さん（指導教員：田中 高行 准教授，豊田 一彦 教授）と南村 椋大さん（指導教員：豊田 一彦 教授，田中 高行 准教授）が、2026年1月29日～30日に開催された映像情報メディア学会放送技術研究会の学生発表部門において、最優秀賞と優秀賞をそれぞれ受賞しました。

本賞は、学生および若手研究者の発表機会を増やし、研究に対するモチベーションを高めるために設けられた賞であり、研究・発表内容の優れた発表者に贈られます。今年は、13件の学生発表があり、1件の最優秀賞と2件の優秀賞が贈られました。

林さんは、次世代の無線通信システムでの活用が期待される高調波発振器の研究を、南村さんは、マイクロ波回路に幅広く活用できる合成分配回路（マジック T）の研究をそれぞれ行っており、その研究内容および発表が高く評価され、受賞に至りました。

○映像情報メディア学会放送技術研究会学生発表部門 最優秀賞

理工学研究科理工学専攻電気電子工学コース博士前期課程2年 林 大地 さん

（指導教員：田中 高行 准教授，豊田 一彦 教授）

題 目： 伝送線路共振器装荷リング共振器を用いた3次高調波出力 Single-Push 発振器の試作評価

著 者： 林大地，田中高行，豊田一彦

資 料： 映情学技報，vol. 50，no. 3，BCT2026-3，pp. 9-12，Jan. 2026

○映像情報メディア学会放送技術研究会学生発表部門 優秀賞

理工学研究科理工学専攻電気電子工学コース博士前期課程2年 南村 椋大 さん

（指導教員：豊田 一彦 教授，田中 高行 准教授）

題 目： ラジアルスタブ装荷コプレーナストリップ線路を用いた低損失平面型マジック T の広帯域設計と試作評価

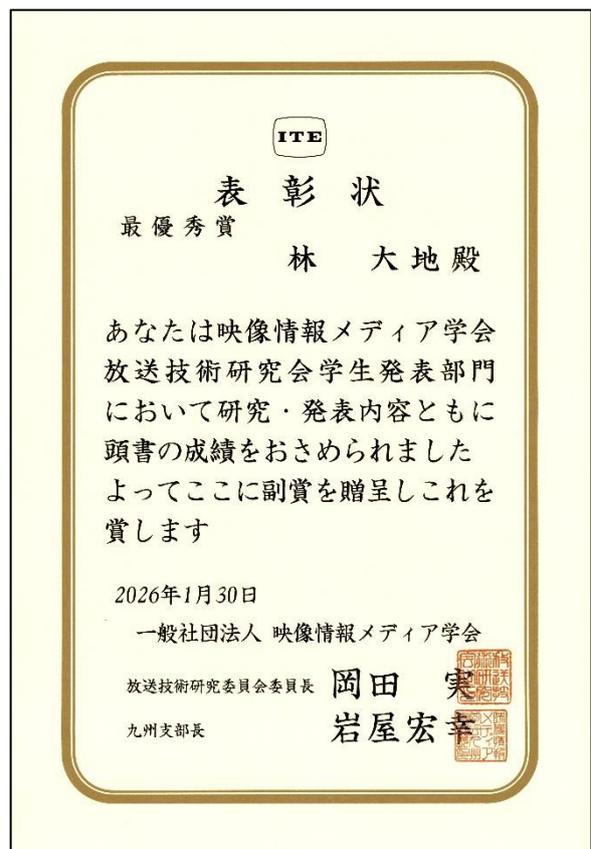
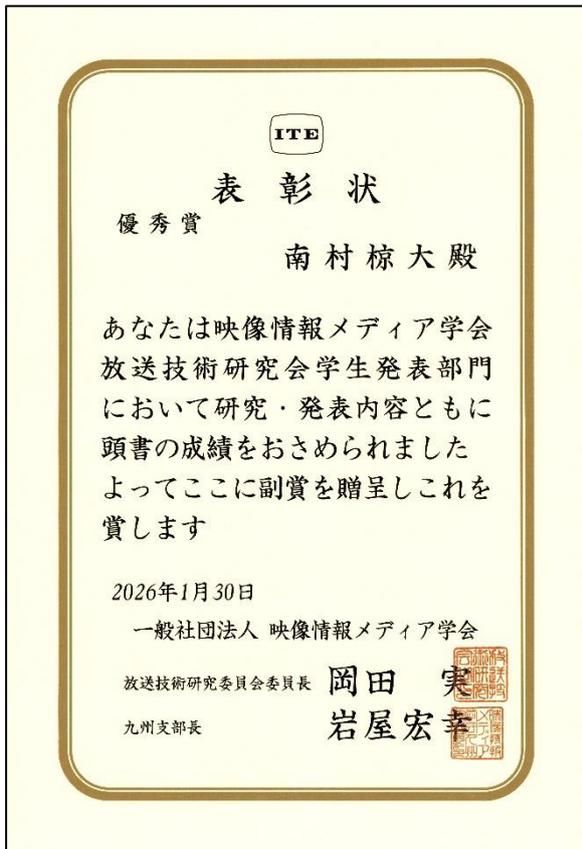
著 者： 南村椋大，田中高行，豊田一彦

資 料： 映情学技報，vol. 50，no. 3，BCT2026-2，pp. 5-8，Jan. 2026

※賞のウェブサイト：<https://www.ite.or.jp/study/musen/glance.html>



受賞した南村さん（左）と林さん（右）



賞状